

第18回研究会を10月21日(木)に  
米子市立図書館で行いました。

新型コロナウイルスのために7月の研究会を延期し、10月に開きました。

今年度になって、米子では初めての会でしたが、昨年から引き続いて熱心な参加者でした。



研究会の様子

ブックレットの目次

立てに添って、第4章

①養父 堀正・かたと企

救男の上京、かたの帝

大病院看護婦養成所生

活を四井が発表した。

②かたの看護婦時代を

中島志乃さんが発表。

③碧川企救男の生い立

ちの原稿を山陰歴史観山本恭子さんの代理で四

井が発表した。

かたが三木家を離縁されて鳥取に帰って来

たのが、一八九六(明治二八)年四月、その頃堀正は日記によると、日清戦争のため中国大陸に渡り、その後台湾で「蛮族平定」して、九月鳥取県に帰ってきた、とある。米子での帰農の志から翻って東京の久松閣付属館幹事に着くため、急ぎよ上京しているが、その任を引き受けたのもかたの上京希望が一因であったかもしれないと合わせ考えることができる。

かたの受洗時期は不明である。本郷大火により弓町本郷教会が老岐坂の普及福音教会を借りて集会をもつことになった一八九八(明治三一)年八月から、弓町本郷教会の老岐坂会堂が落成する一九〇一(明治三四)年一〇月の間としている。(太田雅夫「本郷教会の人びと 会員原簿を中心に」より)さらにかたの紹介で同郷の河崎しずが受洗した日、一八九九(明治三二)年五月七日以前まで範囲を狭めることができる。それはかたの養成所時代でなく、看護婦時代になるのである。

10月23日(土)午後わらべ館での「碧川かたと三木露風のイベント」に内田さんと四井が出てきました。

たつの

市からも

童謡の里

龍野文化

振興財団

の喜多村

あきら  
玲氏が

「三木



↑最後の赤とんぼ合唱 (NHK ニュース画面より)

露風と童謡の里づくり」の話しをされて、四〇数名が熱心に聞きました。

研究会会員の竹内さつきさんも三ヶ月の赤ちゃんを抱っこして、NHKの取材も受け「碧川かたさんについて語り継いでいきたいと感じましたし、赤とんぼの歌を聞かせながら子どもを育てたい」と話していました。

## たつの霞城館で特別展「三木露風とふるさと」

露風の「赤とんぼ」作詩 100 年を記念して、霞城館では特別展が 10/30~12/12 開催されています。最近発見された露風から宮沢賢治に宛てた書簡の控えも公開されています。期間中は記念講演や三木露風ゆかりの地ウオーク、コンサート、映像上映などイベントがあります。問い合わせは龍野霞城館電話 0791-63-2900

### 初めての米子研究会

十月二十一日朝、近所に住み、いつも仲良くしていただいている志水ご夫妻の車で、宍粟市から鳥取道を通って米子に向かいました。かたや企救男も仰いだであろう雄大な大山を眺めながら着きました。かた研究会は二年ぶりですが、米子では初めてなので少し緊張しました。

早く着いたので、企救男が育った屋敷跡を志水さんに案内してもらいました。煉瓦作りの敷石がわずかに残っていて、表は広い道路に面し裏は狭い路地でした。京都の町家に似た細長い敷地でしたが、結構な広さはあるように感じました。(註：表の広い道路は、昔は半分くらい道の幅で、半分まで家の敷地だったそうです。)

研究会の内容は、碧川かたの生涯を学ぶブックレット作成の原稿検討会でした。碧川企救男の生い立ちや、かたの看護婦養成所生活など三名の方々の原稿は、詳しく調べられていて知ら

ないことがたくさんあり、大変勉強になりました。特に企救男の生い立ちで、父真澄は「碧川家の宗教改革」と称したくらい受洗は大事件だったという箇所がすごく印象に残りました。企救男の名前の由来は、福岡県企救郡で生まれたことによるそうですが、私は企救郡の南、京都郡で生まれたから企救は地名とすぐにわかりましたが、それだけでなくて企救に込めた親の深い意味があつて命名したように感じます。ブックレットの完成を楽しみにしています。

宍粟市 文中智子



『現代語訳 女権』を手に説明をしている文中さん  
第 10 回研究会 (2019.10.25) より

● 次回の研究会は湯梨浜です。

【日時】 令和 3 年 11 月 24 日 (水)

午後 1 時半～3 時

【場所】 湯梨浜町中興寺 龍徳寺

【テーマ】第 5 章 北海道 小樽 (七年間)

企救男との再出発から家族で上京するまでを宍粟市の志水豊章さんが発表します。

※初めの 15 分は庭園の説明を聞く。

どなたでも参加できますので

マスク着用で、気軽においでください。

● 令和 4 年 1 月の予定

① 1 月 16 日 (日) 米子市文化ホールにて

「碧川かた没後 60 年 記念上映会」

※ホールでパネル展示や紙芝居をします。

午後 2 時～3 時半はかたの息子の碧川道

夫が技術監督を務めた『地獄門』の上映

があります。詳しくは新聞紙上・ちらしで。

② 1 月 23 日 (日) 午後 2 時～3 時

鳥取市中央図書館多目的ホールにて

「碧川かたの生涯」紙芝居とお話しを四

井がします。要申込み。